



学校だより No.4

響き合う

令和2年5月18日
大村市立放虎原小学校
文責 香田 公裕

戻ってきた笑顔・歓声！（学校再開）

待ちに待った今日が来ました。はち切れんばかりの笑顔と明るく屈託のない歓声が学校に戻ってきました。保護者の皆様も、ここまでよく頑張ってくださいと、心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

県内の他市町では、11日より学校を再開するところが多かったのですが、大村市では、18日再開となりました。様々なご意見があると思いますが、今回の再開を揺るぎないものにしたい。また、臨時登校日を設定することで、学校再開に向けて、子どもたちの心や体の準備をさせたい、そのような強い思いが市教委にも学校現場にもあったことをお伝えします。

「子どもがいるから学校がある。そして、教師の職がある。」

そんな当たり前のことを、強く感じた今回の休校でした。

私が、このことを実感したのは、20数年前に、五島灘の真ん中にある小さな島「江島」の学校に2年間、教頭として勤めた時のことでした。小学校と中学校が一緒になっている小・中併設の学校で、全校児童・生徒が7名でした。それに対して、教職員は小・中あわせて13名（給食の調理員さんや用務員さんも含め）。目の前の3名の小学生がいなかったら、私はこの学校に来ることはできなかった。教頭としての多くの経験や様々な人とのふれあいを持つことはできなかった・・・ありがたい・・・そう思った2年間でした。

放虎原小学校は、663名の子どもがいます。大人数ですが、それは一人一人の大切な子どもの集合体であることを肝に銘じ、全職員で一人一人を大切に育てていきたいと思えます。

学校再開にあたり（3密防止および留意事項）

- ・机と机の間を可能な限り離します
- ・窓は開放し、常に換気を行います
- ・授業は、講義形式を基本とします（給食中も前を向いて食べます）

※マスク着用 手洗い・うがい 各種消毒 健康観察・検温

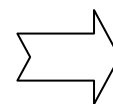
再開に備える！（臨時登校日）

5月11日（月）は1・4・5年生の、5月12日（火）は2・3・6年生の臨時登校日でした。登校風景を見て、全校の半分なので“少ないな〜”という印象でした。登校する児童の中に、ランドセルを背負わず登校する子がいたので声をかけると、「弟を送ってきました」「妹を連れていました」という答え。“えらいな〜”“やさしいな〜”と、心が温くなりました。

学校では、この期間は「密」を避けるために、学級を半分に分け、登校しない学年の教室も使って指導を行いました。



（分ける前）



（分けた後）

8：00～11：30までに、①今後の予定を知らせ、②生活リズムを整える指導 ③今後の学習に見通しをつけるための指導 ④読書指導 を行いました。②では、これまでの生活を振り返り、早寝・早起きを基本に、メディアコントロール等も意識づけるようにしました。どうぞ、ご家庭でも整ってきたかを確認してみてください。③では、教科書や学習プリント等を使って、予習的な学習を行いました。完全な予習ではなく、「学習の仕方」を教えることで、1週間の自習と学校再開後の学習への見通しを持たせました。こうすることで、学習に対する不安を解消し学習に対する意欲を持たせたいと考え指導しました。



下校する子どもたちに、「学校楽しかった？」と聞くと、一様にとびっきりの笑顔で、「楽しかった！！」と答えてくれました。再開後も、すべての子どもが、ずっ〜とこの笑顔でいられるように、全職員で準備をしていきたいと思えます。